

研究教育業績（2014-2018 年度）

I. 研究業績

1. 主な発表論文

[原著論文]

- 1) 村橋 毅, 佐藤太一, 栗原裕香, 樋口敏幸. 農業用水と生活排水が主な水源である埼玉県内の小規模河川（長野落・原市沼川）から採取した河川水中の医薬品分析. 日本薬科大学教育紀要, 5, 51-55 (2019).
- 2) Murata H., Higuchi T.*, Otagiri M., In vitro and In vivo inhibition of metyrapone metabolism by glycyrrhetic acid in male Wistar rats. *J. Pharmaceu. Pharmacol.*, 4(1), 1-6 (2016).
- 3) Murata H., Higuchi T.*, Otagiri M., Oral pharmacokinetics and in-vitro metabolism of metyrapone in male rats. *J. Pharm. Pharmacol.*, 68, 970-979 (2016).
- 4) 村橋 毅, 加藤亜由美, 紀戸綾香, 立花 研, 樋口敏幸, 北村繁幸, 埼玉県における微小粒子状物質 (PM_{2.5}) と多環芳香族炭化水素の大気中濃度, 日本薬科大学教育紀要, 2, 77-81 (2016).
- 5) Higuchi T.*, Morita R., Arai M., Iwase H., Maruyama T., Satoh M., Hoshino Y., Murahashi T., Shiraishi T., Shimada H., Imamura Y., Catechins with a galloyl moiety decrease superoxide formation through redox cycling of 9,10-phenanthrenequinone in pig heart. *The annual report of Nihon Pharmaceutical University*, 1, 77-87 (2015).
- 6) Shimada H., Tanigawa T., Matayoshi K., Katakura K., Babazono K., Takayama H., Murahashi T., Akita H., Higuchi T., Eto M., Imamura Y., Comparison inhibition of tetrameric carbonyl reductase activity in pig heart cytosol by alkyl 4-pyridyl ketones. *J. Enzyme Inhib. Med. Chem.*, 29, 397-400 (2014).

[著書]

- 1) 樋口敏幸 (分担執筆) : 衛生薬学 (改訂第 2 版) 基礎・予防・臨床、今井浩孝・小椋康光 編、南江堂 (2018 年) .
- 2) 樋口敏幸 (分担執筆) : 103 回薬剤師国家試験問題解答・解説、評言社 薬学教育センター 編 (2018 年) .
- 3) 樋口敏幸 (分担執筆) : 衛生薬学 基礎・予防・臨床、今井浩孝・小椋康光 編、南江堂 (2016 年) .
- 4) 樋口敏幸 (分担執筆) : コンパス衛生薬学－健康と環境－ (改訂第 2 版)、鍛冶利幸・佐藤雅彦 編、南江堂 (2016 年) .

2. 主な学会発表

[国内学会]

- 1) 小畑りさ, 種田千夏, 村橋 毅, 浦丸直人, 長部 誠, 渡部容子, 樋口敏幸, PM_{2.5} 由来抽出物質による Tissue factor の発現誘導, 日本薬学会第 139 年会, 3 月, 千葉 (2019).
- 2) 浦丸直人, 坂本佳澄, 鈴木智貴, 木根淵有香, 川村 諒, 渡部容子, 北村繁幸, 樋口敏幸, ラズベリケトンの還元的代謝および 3T3-L1 細胞の脂肪化抑制, 日本薬学会第 139 年会, 3 月, 千葉 (2019).
- 3) 村橋 毅, 酒井絢子, 樋口敏幸, 農業用水と生活排水が主な水源である河川水中の医薬品分析, 日本薬学会第 139 年会, 3 月, 千葉 (2019).
- 4) 浦丸直人, 島田沙保, 厚川雄大, 渡部容子, 樋口敏幸, 高脂肪食負荷および通常食ラットにおける

シトクロム P450 活性 / 発現の比較検討, フォーラム 2018 衛生薬学・環境トキシコロジー, 9 月, 佐世保 (2018).

- 5) 村田秀之, 樋口敏幸, 小田切優樹, 雄性ラットにおけるグリチルレチン酸によるメチラポンの代謝阻害の評価, 日本薬学会第 138 年会, 3 月, 金沢 (2018).
- 6) 浦丸直人, 上田志帆, 小林寛秀, 山本税, 横田賢治, 渡部容子, 立花研, 樋口敏幸, ラット高脂肪食負荷によるシトクロム P450 活性変動への影響, 日本薬学会第 138 年会, 3 月, 金沢 (2018).
- 7) 佐藤志穂, 渡部容子, 立花研, 浦丸直人, 小島弘幸, 吉成浩一, 樋口敏幸, 北村繁幸, フタル酸エステル類とその代謝物が核内受容体 PXR および PPAR α の転写活性に及ぼす影響, 日本薬学会第 138 年会, 3 月, 金沢 (2018).
- 8) 村橋 毅, 郭 錦堂, 樋口敏幸, 立花 研, 浦丸直人, 小西瑞紀, 上野華子, 佐々木翔子, 小山彰子, 埼玉県と東京都における大気中の PM2.5 濃度、多感芳香族炭化水素濃度と粉塵の変異原性の比較, 日本薬学会第 138 年会, 3 月, 金沢 (2018).
- 9) 久保田洋子, 村橋 毅, 土井孝良, 荒井健介, 樋口敏幸, 安西和紀, ヒューマニズム教育プログラムの構築と課題～アクティブラーニングの導入と評価～. 日本薬学会第 138 年会, 3 月, 金沢 (2018).
- 10) 村橋 毅, 鈴木 彩夏, 荒井 美帆, 木下 成美, 樋口 敏幸, 錠剤粉砕器 SafeCrush™ を使用した時の室内医薬品汚染の低減効果について, フォーラム 2017 衛生薬学・環境トキシコロジー, 9 月, 仙台 (2017).
- 11) 村橋 毅, 加藤亜由美, 木戸綾香, 立花 研, 樋口敏幸, 北村繁幸, 埼玉県における大気中の微粒子状物質と多環芳香族炭化水素濃度, 日本薬学会第 136 年会, 3 月, 横浜 (2016).
- 12) 村橋 毅, 久米井祥子, 立花 研, 樋口敏幸, 北村繁幸, 調剤室における空気中医薬品の分析, フォーラム 2015 衛生薬学・環境トキシコロジー, 9 月, 神戸 (2015).

3. その他特筆すべき研究業績

II. 教育業績

1. 担当授業科目

- 2018 年度 食品と健康 (3 年前期)、社会・集団と健康 (3 年後期)、生活習慣病学 (4 年前期)、卒業研究 (5 年、6 年通年)、薬学総合演習 I A (4 年前期・4 コマ)、実務実習事前実習 (4 年後期・4 コマ)、薬学総合演習 II (6 年通年・5 コマ)
- 2017 年度 食品と健康 (3 年前期)、社会・集団と健康 (3 年後期)、臨床栄養学 (4 年後期)、環境・健康科学実習 (3 年後期)、卒業研究 (5 年、6 年通年)、薬学総合演習 I A (4 年前期・4 コマ)、総合薬学勉強会 (5 年・3 コマ)、薬学総合演習 II (6 年通年・5 コマ)
- 2016 年度 公衆衛生学 II (3 年前期)、衛生系実習 II (3 年後期)、臨床栄養学 (4 年後期)、卒業研究 (5 年、6 年通年)、薬学総合演習 I A (4 年前期・4 コマ)、総合薬学勉強会 (5 年・3 コマ)、薬学総合演習 II (6 年通年・5 コマ)
- 2015 年度 公衆衛生学 II (3 年前期)、衛生系実習 II (3 年後期)、臨床栄養学 (4 年後期)、卒業研究 (5 年、6 年通年)、薬学総合演習 I B (4 年後期・4 コマ)、総合薬学勉強会 (5 年・3 コマ)、薬学総合演習 II (6 年通年・4 コマ)
- 2014 年度 公衆衛生学 II (3 年前期)、衛生系実習 II (3 年後期)、臨床栄養学 (4 年後期)、生活習慣病予防学 (5 年後期)、卒業研究 (5 年、6 年通年)、

薬学総合演習ⅠA（4年前期・4コマ）、総合薬学勉強会（5年・3コマ）、
薬学総合演習Ⅱ（6年通年・7コマ）

2. その他特筆すべき教育業績